

日本工業標準調査会標準部会(第41回)議事要旨

- 1 日 時:平成19年5月11日(金)14:00-16:00
- 2 場 所:経済産業省526共用会議室 別館5階
- 3 出席者:二瓶部会長、飯塚委員、岩井委員、小野委員、塩沢委員、田中委員(代理:嶋村)、樋口委員、吹譯委員、前原委員、宮入委員、宮沢委員、矢萩委員、若井委員
- 4 議 題:
 - 4-1 前回標準部会(書面審議)の結果報告について【報告】
 - 4-2 平成19年度業務計画について【審議】
 - 4-3 国際標準化アクションプラン総論(骨子案)について【審議】
 - 4-4 新分野における国際標準化に関する関係省庁連絡会の設置について【報告】
 - 4-5 研究開発と標準化の一体的推進の取組について【紹介】
 - 4-6 国際標準化支援センターの支援活動について【紹介】
 - 4-6 専門委員会に属すべき者の指名について【審議】
 - 4-7 その他
- 5 議事概要:
 - 5.1 前回標準部会(書面審議)の結果報告について
事務局から、資料2に基づき第40回書面審議の結果が報告された。
 - 5.2 平成19年度業務計画について
事務局から、資料3に基づき説明し了承された。主な意見は次のとおり。
 - ・ 各種メディアで分かりやすく標準化の重要性をPRしていただきたい。
 - ・ 迅速なJISの策定に留意すべき。
 - ・ 工業標準化の重点的取組の分類は、柔軟な対応が重要。
 - ・ 消費者のJIS策定への参画を促進すべき。
 - 5.3 国際標準化アクションプラン総論(骨子案)について
事務局から、資料4に基づき説明し了承された。主な意見は次のとおり。
 - ・ 海外に行くための旅費支援だけでなく、日本に関係者を招聘するための支援についても検討していただきたい。
 - ・ 国際標準化することによるメリット、デメリットの整理が必要。一概に国際標準化すべしではなく、国際標準化すべきものと、しない方がよいものの考え方を

含めて総論を纏めて欲しい。

- ・ 学生の標準化教育については、研究と標準化の関連をモデル教材に記載して欲しい。

5.4 新分野における国際標準化に関する関係省庁連絡会の設置について

事務局から、資料5に基づき報告した。

5.5 研究開発と標準化の一体的推進の取組について

宮沢委員と小野委員から、NEDOとAISTの取り組みについて紹介があった。

5.6 国際標準化支援センターの支援活動について

塩沢委員から、JSAの国際標準化支援センターの活動について紹介があった。

5.7 専門委員会に属すべき者の指名について

事務局から、資料8に基づき説明し承認された。

次回の標準部会は、6月19日の午後を開催することとされた。

以上